



文化遺産国際協力コンソーシアム
Japan Consortium for International Cooperation in Cultural Heritage

JCIC-Heritage

私たちが旅先で訪れる各国の文化遺産。
その背景に広がる国際協力について考えてみませんか。



文化遺産国際協力コンソーシアム
シンポジウム

観光は
文化遺産を
救えるか？

「国際協力の新たな展開」

2009年

12月13日[日] [会場] **東京国立博物館 平成館大講堂** [東京都台東区上野公園] **14:00~17:00 (開場 13:00)**

主催：文化遺産国際協力コンソーシアム

後援：文化庁、外務省、(独)国立文化財機構東京文化財研究所、読売新聞東京本社

協力：(独)国際協力機構、(独)国立文化財機構奈良文化財研究所、(独)国際交流基金、(財)住友財団、(財)トヨタ財団、(財)三菱財団、
(財)ユネスコ・アジア文化センター、(財)文化財保護・芸術研究助成財団、(社)日本ユネスコ協会連盟、日本イコモス国内委員会

◎申し込み制：定員390名 (お席に余裕がある場合は当日参加も受け付けております) / 入場無料

[参加の申し込み・お問い合わせ先] 参加ご希望の方は、お名前・連絡先(電話番号・FAX番号・E-mailアドレス)を事務局まで E-mailまたは電話・FAXにてお申し込み下さい。
文化遺産国際協力コンソーシアム事務局 Tel:03-3823-4841 Fax:03-3823-4027 E-mail:consortium@tobunken.go.jp





北京紫禁城太和殿(中華人民共和国)
写真提供 教員ユニゾベル

観光は 文化遺産を 救えるか？

—国際協力の新たな展開—

2009年 **12月13日**[日]

東京国立博物館 平成館大講堂
(東京都台東区上野公園)

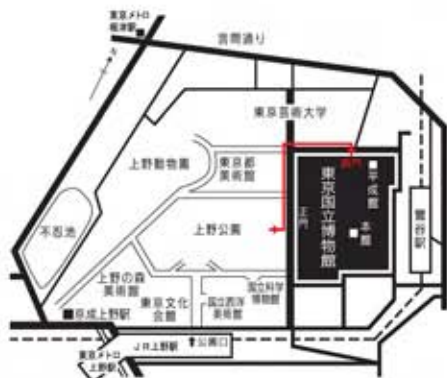
14:00～17:00(開場 13:00)

◎申し込み制：定員390名

(お席に余裕がある場合は当日参加も受け付けております)／入場無料

【参加の申し込み・お問い合わせ先】参加ご希望の方は、お名前・連絡先(電話番号・FAX番号・E-mailアドレス)を事務局までE-mailまたは電話・FAXにてお申し込み下さい。

◎文化遺産国際協力コンソーシアム事務局
Tel:03-3823-4841 Fax:03-3823-4027
E-mail:consortium@tobunken.go.jp



■交通機関
JR:上野駅公園口、鶯谷駅下車徒歩10分
東京メトロ:銀座線・日比谷線 上野駅、千代田線根津駅下車徒歩15分
京成電鉄:京成上野駅下車徒歩15分

当日は東京国立博物館西門よりお入り下さい。

旅先で訪れる考古学的遺構、歴史的建造物、人々がいまも生きる町並みなどに、私たちは驚き感動します。そうした文化遺産は、その土地の文化や人々を理解する重要な「扉」となります。旅の途中で立ち止まり、様々なかたちの文化遺産をじっとみれば、そこに息づく文化や人々の暮らし、地域から国家、さらに国際社会をつなぐ国際協力の糸がみえてきます。

こんにち、観光は人々が国から国へ、地域から地域へと移動する世界規模の動きとして捉えられています。1972年に世界遺産条約がユネスコにより採択されてからは、「世界遺産」というブームのなかで、各国や地域の文化遺産を訪れたり、巡ったりする観光は多くの人々に受け入れられ、日本からも多くの人々が様々な世界遺産を楽しむ旅にでています。

文化遺産保存の視点からみても、私たちが文化遺産を楽しむ観光は、同時に文化遺産を脅かすものとしても捉えられてもいます。つまり急激な観光客増加に伴う遺産への影響や、無秩序な観光開発による景観の破壊など、観光には負の側面があります。また、いくつかの国では「開発に対する文化遺産の保存」ではなく、「保存するための開発」が国家政策として行われており、地域住民の強制移住など、多くの課題が取り上げられてきました。これら課題の出現が、観光を契機とした文化遺産の保存や、文化遺産を主眼にした観光開発を貧困削減のツールとするという新しい考え方を生み出してきたことも事実です。例えば、世界遺産保存においては、文化遺産と自然遺産保護を考慮した「持続可能な観光」の問題に対する取り組みが2001年から始められています。

本シンポジウムでは、国際レベルでの文化遺産保護と観光の関係への取り組みについて、関係者をお招きし、文化遺産の背景に展開している文化遺産と観光の関係、それに絡んだ日本の国際協力について考えます。



シーギリヤ博物館に展示されているフレスコ壁面のレプリカ(スリランカ) 写真提供 国際航業株式会社

プログラム

- 14:00～14:10 挨拶：文化庁／外務省
- 14:10～14:15 挨拶：石澤 良昭(文化遺産国際協力コンソーシアム副会長・上智大学学長)
- 14:15～14:25 文化遺産国際協力コンソーシアムの紹介：清水 真一
(東京文化財研究所文化遺産国際協力センター長)
- 14:25～14:55 基調講演
世界遺産保護と観光マネージメント：未来への挑戦
フェン・ジン(ユネスコ 世界遺産センター プログラムスペシャリスト)
- 14:55～15:15 ツーリズムの視点から見た文化遺産国際協力の展望と課題
西山 徳明(九州大学大学院教授)
- 15:15～15:35 文化遺産と社会開発：ペルー北高地神殿遺跡のケース
関 雄二(国立民族学博物館研究戦略センター教授)
- 15:35～15:50 休憩(15分)
- 15:50～16:10 私が見た観光と文化遺産
浜島 直子(モデル)
- 16:10～16:40 文化遺産と観光開発への支援—JICAの事例から
国際協力機構
- 16:40～16:55 総合討議：司会 西山 徳明(九州大学大学院教授)
- 16:55～17:00 閉会挨拶

